



なつやすみ

本格的に夏です。私立大学だとこの時期はもう夏季休業期間に入っているところもあるでしょうが、我々はあと一息です。そんな夏季休業直前号は、木村高宏先生のエッセイ、本田哲也先生の公開講座の報告、高校生向けセミナー「ウィークエンド・ロースクール」のお知らせをお届けします。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 32 回 木村高宏先生（公共政策論）

私は年に数回は石川県立音楽堂でクラシック音楽のコンサートを聴くのですが、時折出沒する「ブラボーおじさん」がとても気になるのです。

私のいう「ブラボーおじさん（不思議なことにおばさんや男女問わず若者には遭遇したことがない。個人の限定的な経験談）」とは、そんなにいいとは思えない演奏でも、最終の音符に食い気味で「ブラボー！」って叫んじゃう人のことです。「言いたいだけちゃうか」などと勘ぐってしまいます。笑いの沸点が低い劇場が芸人をダメにするみたいに、こういう人が多いのはあまりいいことだとは思えないんですね。

さて、堅苦しいと誤解されがちクラシック音楽のコンサートは、実際に行ってみるとわかりますが、少なくとも石川県立音楽堂ではわりと気楽なものです。もちろん服装も普段着で入れます。

このエッセイの冒頭で「クラシック？寝るわ…」と思ったそこのあなた、音楽の生演奏の中で寝られるなんて貴族みたいでいいじゃないですか。そもそもクラシック音楽はα波が出やすいといわれていて、α波でリラックスするのは生理現象です。寝ちゃっても仕方ありません。

「クラシックのコンサートお？お高くとまっちゃって」みたいに思ったそこのあなた、身近にプロのオーケストラがあるというのは実はこの日本国内でもなかなか恵まれた環境です。文化を誰がどのように支え…という話は難しくなるのでここで止めます。

当日券が残っていれば学生割引もあることも多いので、機会があればぜひ出かけてみてください。演目が有名曲なら有名曲でよし、有名でない曲なら、よく演奏される曲には演奏されるなりの理由があるのだなということもなんとなくわかったりして、それもまたいい経験です。



はじめての「公開講座」



公開講座「高校生から分かる法学・政治学の諸問題」は、毎年法学系の教員が法学・政治学に関係する「答えのない問題」を「自分の頭」で考えるきっかけを提供することを目的としています。

昨年 10 月に金沢大学に着任した私は、これが初めての公開講座の講師となります。参加者は 30 人ほどで、全体の年齢層は高かったですが、もちろん高校生の参加者もいました。皆さん、鋭い質問もたくさんしてくださいました。

令和の時代を迎え、今回私は平成の政治現象について学界で共有されている知見からどのように説明することができるのかについて考えてみたいと思い、取り組みました。先達の研究成果から多くのことを学び、あらためて調べてみて分かったことや気づかされたことが多く、私自身もその準備作業を通じて大変勉強になりました。

先に学んだものが後から学ぼうとする人のために道を指し示し、教えるという活動を通して互いに学びあう「半学半教」という理念があります。私が担当する講義では、現状はどうなっているのか、なぜそのような状況が生じているのか、制度を支える原理は何なのかといった問いを重視しています。これは私自身が初めて学んだ時に、どうなっているのだろうか、なぜだろうと抱いた疑問を受講生の皆さんにも大事にしてほしいと考えているからです。

公開講座の準備でも現状はどうなっているのか、なぜこのような状況が生じているのかといった疑問に一つ一つ答えられるようにすることを心掛けたつもりです。熱心に耳を傾け、多くの質問をくださった参加者の皆さんに感謝をしたいと思います。 政治社会学担当 本田哲也

高校生向けセミナー「ウィークエンド・ロースクール」開催！

お知らせ

金沢大学法学類では、公認サークル「金沢法友会」の協力により、高校生が法学類生と一緒に法（ルール）について考え、理解を深めるセミナー「ウィークエンド・ロースクール」を、下記の日程・テーマで開催します（各回定員 40 人）。

グローバル化の進展著しい現代社会では、みんなが依拠すべき法（ルール）について合意を形成し、その法（ルール）を使いこなす、場合によってはよりよい法（ルール）への変更をみんなで考える、といった営みを不断に行わなければ、多様な価値観を持つ人々が仲良く幸福に暮らして行くことは難しいでしょう。

このように、法（ルール）が持つ重要性がますます高まっている今、専門分野あるいは文系・理系を超えて、「ルール・リテラシー」を身につける必要が高まっていますので、法学・政治学に関心のある方はもちろん、他の学問に関心のある方の参加も歓迎します。参加申込み方法・会場・時間等、詳細は、8 月以降金沢大学 Web サイトにてお知らせします。

- ① 10 月 19 日 「平等」を考える
- ② 11 月 16 日 「判決」を考える～民事模擬裁判の傍聴と評議
- ③ 12 月 21 日 「正しいルール」のあり方考える～「校則」を素材として
- ④ 1 月 11 日 ルールと「ペナルティ」の関わりを考える



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。 (<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/brochure/geppo>)
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。